

# 令和3年度 大会要綱

## 1 出場資格

- (1) 社会人チーム：朝霞市在住、在勤、在学する者のみによって編成されたチームとする。
- (2) 中学生チーム：学校単位の中学生チームとする。
- (3) 学童チーム：朝霞市在住及び在学によって編成された小学生チームとする。  
※新規加入チームの申し込みは、総会当日までです。

## 2 出場資格の喪失について

- (1) 総会
- (2) 主将会議（総会終了後に実施します。）
- (3) 野球規則等説明会または義務審判講習会  
※上記の一つでも欠席した場合は、大会へ出場することができません。

## 3 ブロック編成について

- (1) Aクラスは8チーム以内、Bクラスは20チーム以内、CクラスはA・Bクラス以外のチーム、壮年の部は40歳以上の者で編成されたチームとする。
- (2) Aクラスはリーグ戦とし、B・Cクラス及び壮年の部は、1ブロック5チームで予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメント行う。  
（ただし、Cクラス及び壮年の部は参加チーム数による。）

## 4 試合時間及び回数等について

試合時間及び回数・コールドゲームは、次のとおりとする。

- (1) Aクラス 2時間または9回戦。
- (2) B・Cクラス、壮年の部 1時間30分または7回戦。

※Aクラスで同点の場合の延長戦は12回（時間内）まで、Aクラス以外で同点の場合の延長戦は9回（時間内）までとし、この時間を超えて新しいイニングには入らない。

※得点差のコールドゲームは、9回戦の場合5回以降10点差、7回以降7点差とし、7回戦の場合5回以降7点差とする。

暗黒降雨のコールドゲームは、5回（4回1／2）とする。

※雨天により試合が不成立となった場合は、再試合とする。

※後攻めチームが勝っている際に攻撃中に時間が来た場合は、その時点の打者の打撃が完了して試合を打ち切りとする。

※試合中のボール回しは初回（表・裏）のみとし、2回以降は捕手が塁への送球だけとする。なお、アウトを取った後のボール回しはできません。

天候や試合の状況によりボール回しをすべて中止にすることがあります。

※試合をする時のベンチ入り人数は、登録選手10人以上とする。なお、10人集まらないとき及び試合の途中で10人を欠けたときは棄権扱いとする。

## 5 義務審判員制（後審判制）について

Aクラスを含め原則として、すべての試合で義務審判員制を採用する。

従って、前試合の2チームより2人ずつが義務審判員となり、次の試合の審判（主審は除く）及びスコア係を行います。ただし、その日の第一試合は除きます。

※決勝トーナメント戦も、義務審判員制（スコア係）を採用する。

## 6 少年野球大会について

- (1) 市総体の中学生の部はA・B大会の二つに分けて行う。
- (2) 市総体の学童の部については予選リーグを行い、A・Bリーグの上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
- (3) 全日本学童・県学童・日本ハム旗予選会及び秋季学年別大会はトーナメント戦とする。
- (4) 選手不足などにより、他のチームなどから補充する場合は、代表者会議において承認を得るものとし、詳細については代表者会議で決定する。
- (5) 投球数制限は70球(4年生以下は60球)とし、その際打者が打撃完了しない場合は、完了まで続投。

## 7 社会人の部 対外試合について

- (1) 社会人野球の各種県大会等の代表チームは連盟で推薦し、これを派遣する。
- (2) 日本スポーツマスターズ県大会及び東日本都市対抗シニア大会には、連盟で選抜チームを編成しこれを代表として派遣する。また、市内大会と日程が重なった場合には、市内大会を延期することがある。

## 8 グラウンドルールについて

中央公園野球場・内間木公園ソフトボール場を除き、他の球場の特別グラウンドルールは別に定める。

## 9 集合時間について

- (1) 試合開始予定時間までに集合しないチームは棄権となる。
- (2) 試合開始予定時間の30分前には必ず集合し、速やかに本部席・審判室へ監督または主将がメンバー表を3部提出(攻守を決めるとき)してください。
- (3) 前の試合が終了していなくても、試合開始予定時間に到着しないチームは棄権とする。

## 10 決勝トーナメントについて

- (1) 試合回数は7回戦とし、
- (2) 試合時間は、1時間30分。ただし、決勝戦のみ2時間とする。
- (3) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。また、暗黒降雨によるコールドゲームは、5回(4回1/2)とする。
- (4) 雨天により試合が不成立となった場合は、再試合とする。
- (5) 同点の場合延長戦を9回(時間内)まで行い、それでも決着がつかない場合は1回だけ特別延長戦(継続打順で無死1・2塁)を行う。その結果、さらに同点の場合は抽選(最終的に出場していた9人)により勝敗を決定する。

## 11 予選リーグ戦順位決定について

- 各クラスは ①ポイント数の多いチーム ②得失点差の大きいチーム  
③対戦し勝利した方のチーム ④抽選  
※ポイント数は、勝利1.0・引き分け0.5  
①～④の順番で予選リーグ戦の順位を決定する。

## 12 クラス降格について

次の要件に当てはまるチームは、降格となる。

- (1) Aクラスの下位2チーム。
- (2) Bクラスの予選リーグ戦で、ポイントが0.5ポイント以下のチーム。

- (3) リーグ戦で降格チームがない場合は、各クラスの総合成績が下位の2チーム。
- (4) ペナルティーとして無届け棄権チーム。

### 13 クラス昇格について

次の要件に当てはまるチームは、昇格となる。

- (1) Aクラスに昇格するチームは、Bクラスの優勝及び準優勝の2チーム。
- (2) CクラスのチームがBクラスに昇格することができるチームは、降格チーム数に応じたチーム数とし、Cクラスの決勝トーナメント戦の上位の順からとする。
- (3) 新年度のBクラスの登録チーム数が(2)に該当する昇格チームを含めても、20チームに満たない場合には、さらにCクラスの決勝トーナメント戦の上位の順により定めた補欠チームを昇格チームに加える。

### 14 順守事項について

- (1) 打者・走者・捕手・次打者・ベースコーチは、必ずヘルメット着用のこと。
- (2) 捕手は、投手の投球を受けるときは、マスク・レガース・プロテクター・カップを必ず着用のこと。なお、攻守決定後の先発バッテリーの投球練習(中央公園野球場のみ)の際も同様とする。
- (3) ユニフォーム等についての順守事項として、以下のとおりとする。(次ページの【参考】を参照のこと。)
  - ①同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォームでなければならない。
  - ②ユニフォームの選手名については、背中に選手名を付ける場合は、全員が背番号の上にローマ字で姓のみとする。ただし、同姓の者がいる場合、名の頭文字を入れてもよい。(全日本軟式野球連盟規程細則)
  - ③県大会に出場するチームのユニフォーム左袖には、漢字またはローマ字で、「埼玉(SAITAMA)」の名称を入れること。
  - ④投手のグラブについては、縁取り・しめひも、縫い糸を除くグラブ本体(捕球面、背面、網)は1色でなければならない。
  - ⑤ネクストバッタースサークル内でのバットスウィングは、禁止します。必ず低い姿勢で待っていること。(リングの使用も禁止します。)
  - ⑥グラブ・ミットの紐は、短く結ぶこと。(長くしたままのグラブ・ミットで、他の選手の眼球を傷つけた事故があったため。)
  - ⑦上記①から③までの順守事項については、Aクラス及びBクラスについては、厳格に適用することとし、試合開始整列時にチェックをし、違反する者がいた場合、その者は試合に出場することができないものとし、試合を行うためのチーム人数10人にもカウントしないこととする。

## 【参考】

### 監督や選手のユニフォーム、投手のグラブについての注意事項

#### ① ユニフォーム等について

(公財)全日本軟式野球連盟規程細則で、「同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォームでなければならない。」

#### ② ユニフォームの選手名について

(公財)全日本軟式野球連盟規程細則で、「ユニフォームの背中に選手名をつける場合は、全員が背番号の上にローマ字で姓のみとする。ただし、同姓の者がいる場合、名の頭文字を入れてもよい。」と規定されています。

#### ③ 投手のグラブについて (公認野球規則)

(a)「投手のグラブは縁取りを除き白色、灰色以外のものでなければならない。審判員の判断によるが、どんな方法であっても幻惑させるものであってはならない。守備位置に関係なく、野手はPANTON®の色基準14番よりうすい色のグラブを使用することはできない。」

【注】アマチュア野球では、投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体(捕球面、背面、網)は1色でなければならない。

(b) 投手は、そのグラブの色と異なった色のものを、グラブにつけることはできない。

(c) 球審は、自らの判断または他の審判員の助言があれば、あるいは相手チームの監督からの意義に球審が同意すれば、(a) または (b) に違反しているグラブを取り換えさせる。

「全日本軟式野球連盟としての考え方」

○本体カラー：受・背・ウェブは同色

○ハミダシ：本体同系色または革の自然色

○へり革：制限なし

○紐：白／グレー／PANTON®の色基準14番より薄い色以外は制限なし

○縫い糸：制限なし

○指掛け：本体同色

○刺繍：親指部分の付け根一か所のみ(本体同色)

## 15 還暦の部について

本年度も引き続き試行として還暦の部を以下のとおり実施する。

(1) 有資格年齢は、昭和37年4月1以前に出生した者とする。

(2) 試合方法は、参加が3チーム以内の場合は、総当たり戦とする。

なお、4チーム以上の場合は、トーナメント戦とする。

(3) ユニフォームは試行のため、不揃いでも可とする。

(4) 塁間の距離は、投手板から本塁間は16.3メートル、塁間は25メートルとする。

(5) 使用球はナガセケンコーM号とし、金具付スパイクは禁止とする。

(6) 試合時間、義務審判員制等は、本大会要綱のとおりとし、DH制を採用する。  
なお、その他詳細は代表者会議で決定する。

(7) 表彰 優勝チーム、優秀選手1名

(8) 参加費 1チーム登録費 3,000円、会費 5,000円

## 16 その他

- (1) 中学生及び学童野球のルール等については、別に定める。
- (2) 試合を棄権せざるを得ないときは、事前に連絡又は届出をすること。  
なお、無届けによる棄権は予選リーグの成績が良くても、決勝トーナメントに出場できなくなり、また、降格にもなりますのでご注意ください。
- (3) 雨天により試合が成立しなかった場合は再試合となりますので、日程を調整した後に、連盟ホームページにてお知らせします。

**※試合日当日の棄権連絡は、試合会場に届け出ること。なお、中央公園野球場については電話でも可** (048-465-7277)。

※前日までの棄権連絡は 理事長 比留間 携帯 090-4949-1350  
副理事長 木村 携帯 090-2400-6371